

- 2月部長会・役員会報告
- 令和5年度役員候補者の役職決めの話し合い
- ハマッコトイレ・情報受伝達訓練を実施
- これからの日限山自治会のあり方～その2～

2月部長会・役員会報告

【検討事項】

1. 総会資料の検討

→ 2月末日締め、4年度収支決算の監査が終わり次第、第2号議と第5号議案(5年度予算案)と一緒に役員会に提示する。第1号議案、第3号議案、第4号議案、第6号議案について、4月2日令和5年度定期総会に、提案する。第4号議案の「令和5年度活動計画」には、〈青少年部〉による「令和4年度に出産のあった会員世帯への出産祝い」、〈財務部〉による「5月に年1回の自治会費・地域協力費集金(振り込みによる)」など新しい取り組みの提案が含まれている。

2. 金券の取り扱いについて

→ 高齢者や新入学児童などへの祝い金としてお渡しする金券の残りについては、担当部長から財務部へ返納することとし、財務部管理とする。財務部は、各部長が事務用品等を立替え購入することが予めわかり、かつ、納付された金券額が使用可能な場合、仮払金として、財務部から各部へ支給する。

3. 自治会館使用人数制限の再緩和について

→ 現在の新型コロナ感染状況及び社会全体の with コロナの流れを踏まえ、自治会館1階ホールの使用人数を現状の30人から40人に増やす。

※太字下線部が決定事項。

令和5年度役員候補者の役職(案)固まる

2月11日(土)、日限山地域ケアプラザ多目的ホールにおいて、各ブロック・班から選出された令和5年度役員候補者による役職決めの話し合いが行われました。初めに、2人の立候補者のあった〈会長〉については、投票が行われた結果、山本利昭さん(9ブロックD班)が会長候補として選ばれました。山本さんは、「納涼祭を外部業者に委託できるところは委託した上で実施する方向で年度当初から検討に入る」「会費振込や回覧のLINE化によりブロック長、班長の負担軽減を図る」「防災ガイドラインの作成」を掲げて、有効投票数32のうち、18票を獲得しました。

副会長、部長、副部長、ブロック長幹事も含めて第3号議案として総会で審議を受けます。

防災拠点訓練の実施!

2月18日(土)午前10時から、この地域の「防災拠点」となる日限山小学校において、「防災情報受伝達訓練」と「ハマッコトイレの訓練」を実施しました。



小学校内の日限山コミュニティハウスでデジタル無線の使い方などの講習を区職員から受け、外では「ハマッコトイレ」に水をどのように流し込むかを防災ライセンスリーダーの方たちか

ら実技指導していただきました。「ハマッコトイレ」は、災害時避難所となる学校のプールの水をくみ上げて、それを仮設トイレの下に流すというものです。



これからの日限山自治会のあり方～その2～

前号で述べた通り、日限山自治会の中で、今や割合が拮抗している70代以上の住民と50代以下の住民、長く(31年以上)この地にお住まいの方々と居住年数の比較的浅い(20年以下)方々がそれぞれ抱える困りごとやニーズに対して、いかに応えていくか、そのことが今、自治会に求められていることなのではないかと思えます。

令和5年度会長候補となった山本さんの提唱する「納涼祭を外注できるところは業者委託して、役員、ボランティアの負担を軽減する」「会費振込や回覧のLINE化によって現役で働く世代にとっても参加しやすい自治会を目指す」という方向性は、こうした地域の変容に添った、まさに新しい自治会のあり方を模索する上で、一つの方向性を示すものといえましょう。

また、世代や生活状況を越えて、「防災」が地域にとってのキーワードであることも事実です。発災時に、地域には高齢者と子どもたちが残されることも想定した備えが必要になります。

本紙発行人：兵頭 剛士
// 編集者：齊藤 亮